

令和6年度 加古川市立尾上小学校 学校評価(関係者評価)

Ⅰ 教育目標 進んで学び、たくましく生きる、心豊かな尾上っ子の育成 ～子どもたちの未来を見据えた、自立して生きる力につながる教育実践～

2 基本方針 ○考え努力する子 ○心豊かな子 ○たくましい子

3 指導目標 ○心とからだにやさしい人になろう ○学びをどんどん深めよう

評估基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	取組状況・改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
考え努力する子	・学ぶ意欲を高め、確かな学力を身につける取組の充実 ・教職員の実践的指導力の向上	B	・ICT機器を効果的に活用した授業改善に取り組み、個に応じた学習や主体的に学ぶ姿が増え、協同的探究学習も定着しつつある。 ・基礎基本の定着に向けて、朝の時間の活用など工夫し継続して取り組む必要がある。	どの学年もICTを活用して自分の考えが発信できていて、ICT活用能力が高まっている。同時にアナログの部分も大切にしている。バランスがとれている。 学力向上だけでなく、心の成長にもよい読書の機会を学校で確保し主体的な学びにつなげてほしい。	A
心豊かな子	・いのちを大切にする教育の推進 ・自己有用感を高める活動の推進	A	・ネットトラブル防止教育や自殺予防に関する授業などを実施し、命を大切にする教育を推進した。 ・心の絆プロジェクトなどの活動を通じて友だちや自分の良いところに気づく機会を設けた。また児童会が中心となり、ペア学級で一緒に遊ぶ異学年交流を計画・実行した。	児童会が中心となり、一人一人の良さを認め合う取組は素晴らしいので、今後も継続することで個性を伸ばしてほしい。 枠にとらわれず、体験的な学習を通して個性を伸ばし、可能性を広げることを目指してほしい。	A
たくましい子	・健康教育の推進 ・規則正しい生活リズムの確立を図る取組の充実	A	・スポーツフェスティバルでは1学期から体育の授業で行ってきた取組を学年ごとに発表し、目標に向かって意欲的に運動に取り組んだ。 ・基礎体力が低い傾向が見られるので、体づくり運動を授業の始めに取り入れる等、継続した取組をしていく。	尾上っ子は、とても元気で子どもらしく、のびのびと育っていると感じる。 子どもたちの体力向上のために、学校での運動習慣を身につける継続した取組と家庭で規則正しい生活リズムの定着を図る取組を期待する。	A
安全・安心な学校	・「生活のきまり」の徹底と 保護者との連携 ・ネットトラブル防止に繋がる指導の強化	B	・児童の様子を教職員で共有して課題解決に取り組み、児童の細やかな実態把握に努めている。 ・毎年ネットトラブル防止講座を全校生に実施している。保護者向けにも実施しているが参加が少なく、より多くの保護者に参加してもらえるような工夫が必要である。	SNSを通じてのトラブルに対する危機意識の向上を図る取組が必要である。学校では、授業を通して子どもたちに、より一層情報モラル教育を推進するとともに、保護者の参加率を向上させる工夫をし、学校と家庭が一体となってネットトラブル防止に取り組んでほしい。	B
開かれた学校	・学校・学年便りの発行・ホームページの充実 ・教育相談の実施 ・学校支援ボランティアの活用	A	・保護者向けのお知らせは、スマートフォンのアプリに届くようになり、アンケートでも良い評価をいただいている。 ・個人懇談に加え、2,3学期末に実施していた教育相談を拡大し、より多くの方に来ていただいて話ができる機会を設けた。	学校のために必要なボランティアに関して、引き続き協力していきたい。 教育相談については、保護者が学校に気軽に相談しやすい雰囲気を作るなど学校に対するハードルを低くすることを心がけてほしい。	A